

Q 学校祭について教えてください。

城東高校では、学校祭を「翠緑祭（すいりょくさい）」と呼びます。スクールカラーである“緑”を基調に第一期生に名称を公募し決定して以来、この名称で親しまれています。今年は文化の部を9月4日（金）と9月5日（土）に行います。体育の部は9月2日（水）にシゲトアリーナで行います。文化の部2日目は一般に公開しています。昨年は3000人を超える来校があり、今なお進化し続ける学校祭です。

生徒の有志によって組織された「翠緑祭実行委員会」が企画・運営を行っています。「晴（サニー）」「宙（そら）」「響（ひびき）」「栞（しおり）」「碧（あお）」「朔（さく）」など、学校を取り巻く情勢を反映したテーマが公募によって決定され、そのテーマの趣旨に沿って各部・委員会・クラス・有志の展示・発表が行われています。この内容については、多方面から高い評価を受けています。特に、全校生徒が参加して制作する「全校制作」は、翠緑祭のシンボルになっています。

Q 翠緑祭の他にはどのような学校行事がありますか？

5月上旬に1年次は新入生研修（校内）（校外）を、2・3年次はシゲトアリーナで球技大会を実施します。

また、1年次の夏休みにはカナダで海外文化体験研修が予定されています。また、2年次は3月にオーストラリアで海外学修研修を予定しています。現地ではホームステイや、語学研修とともに貴重な異文化体験ができます。2年次では、学類研修もあります。それについてはp.9-10で詳しく説明しています。

その他の特色ある学校行事としては、吉備路ウォーキング（1年次）、百人一首大会（1年次）などがあります。また、学類の特色を生かして、国際教養学類のITC英語集中宿泊（1泊2日）、音楽学類と吹奏楽部・管弦楽部・合唱部による定期演奏会（12月下旬）があります。年間を通じてたびたび行われる中庭コンサートや書道部、ダンス部のパフォーマンスは、生徒全員が楽しみにしています。城東高校のホームページのブログで、いろいろな行事を紹介していますので、ぜひご覧ください。

Q 部活動は盛んですか？

部活動と勉強の両立は高校生にとって難しい課題です。しかし、城東高校では全校生徒の9割以上が何らかの部・同好会（合わせて31ある）に所属しており、朝・放課後・休日と意欲的に活動しています。日頃の短い練習時間を集中力と練習メニューの工夫、合宿などでカバーし、対外試合やコンクールなどで優秀な成績を収めています。近年の主な成績は次の通りです。

文化部では、合唱部・管弦楽部、文芸部、ESS部が全国大会へ、音楽学類からはピアノや声楽で全国大会上位入賞を果たすなどしています。

運動部では、陸上競技部がインターハイに出場しました。中国大会へは、テニス部、野球部、バドミントン部、剣道部が出場しました。

この他にも、多くの部が毎日熱心に練習に励み、県大会で優秀な成績を収めています。

このように城東高校では、多くの部および個人が試合やコンクールで活躍するとともに、「文武両道の城東」を目指して日々活気ある活動を行っています。

学類について

Q 学類とは何ですか？

2・3年次における、進路や系統に沿った選択科目群、およびそれを選択した生徒の集まりのことを指します。本校では「人文社会学類」「国際教養学類」「音楽学類」「理数学類」の4つの学類があります。

Q 学類に定員はありますか？

ありません。

Q 学類は自由に選べるのですか？

一般入試、および海外帰国生徒入試で合格した人は自由に選ぶことができます。1年次に自分の適性をよく考え、2年次になる時に進路に応じた学類を選ぶことができます。ただし、特別入試で「国際教養分野」で合格した人は国際教養学類に、「音楽分野」で合格した人は音楽学類に所属することになります。ですから特別入試を受検する場合は、それぞれの学類の特長を生かした進路を考えておくことが大切です。

進路指導について

Q 城東高校の進路指導について教えてください。

城東高校では、2人担任制をとっており、学期ごとの面接週間だけでなく必要に応じて繰り返し個人面談を行い、生徒一人ひとりに対し、細やかに対応しています。面談ではキャリア・パスポートを活用しながら個々の生徒の進路志望を大切に、不得意科目を克服し、目標を実現する方策を多くの資料を用いて探っていきます。そして、学生として社会人としてどのように生きていくかを考えながら、そのために今何をすればよいのか話し合います。また、ロングホームルームでの大学（学部・学科）調べ、1年次の希望者による東京大学での研修、2年次の学類研修、各年次の高大連携事業による大学の講義の受講、社会人講師による授業や講演会、大学ミニ説明会など、進路を考える機会を数多く設けています。さらに、全年次でGTECを受験し、授業で伸ばした4技能の力をはかりながら、その得点を大学受験の際に生かすこともできます。難関大学志望者や小論文・口頭試問・プレゼンテーションなどが受験に必要な生徒に対しては、難関大講習会などの学習支援や個別指導を継続的に行っています。希望者対象の土曜講座や必要に応じた補充学習などで、教科の内容を補うこともできます。

進路指導課では、年次ごとに「時計台」という進路だよりを月2～4回程度発行し、タイムリーな情報を提供しています。進路資料室には、多くの進路資料が備え付けられ、生徒が自由に閲覧できるようになっています。